

JRCA 2013年第6回理事会 議事録

2014年1月22日(水) / 文京区スポーツセンター会議室 18時半から

出席者：長瀬、中原、佐藤、中島、齊藤、奥村、富田、河野、多比羅、染宮、伊藤

1：テクニカルデリゲートについて

クラスの増加、改造範囲の解釈、車両に関する主催者間の申し送りなどを考えると、テクニカルデリゲートの必要性が増している。できれば統一した見解を持った人物をJAFから派遣してもらいたいが、現状では難しい。

テクニカルデリゲートとまではいなくても、テクニカルアドバイザー的な存在でもいいので、全戦を通じて技術解釈の統一及び申し送りをできる人物が必要ではないか？

以上のことより、主催者意見交換会において、こうした人物が必要かどうかを聞いてみることになった。

2：リタイア後の対処法について（道を塞いだ際の対応）

ラリー競技開催規定：付則スペシャルステージラリー開催規定第3章第25条15号「競技クルーの安全」の項において、リタイア直後に当該クルーが行わなければならないのは、少なくとも50m手前に三角停止板の設置、後続車への適切な合図、OKもしくはSOSカードの提示となっている。

通過可能か不可能かの判断は後続車に譲らなければならないが、少なくとも車両が道を塞いでいる状態を伝える合図、つまり後続車への適切な合図について、参加クルー全員が何らかの共通認識を持つことが必要ではないか。さらに、後続車が前走車の状態を確認し、通行不能と判断した際の後続車への適切な合図についても、同様のことが言えるのではないか。

以上のことより、適切な合図について、検討していくこととなった。

3：JRCA公式携帯サイトの継続審議

提案いただいた携帯サイト事業ではあるが、WEBを含めたトータルのプランを確定させることが先決であり、提案いただいた方をいつまでも待たせることも失礼にあたることから、審議はいったん中止することとなった。

4：新規賞典の検討

継続審議となった。

5：モータースポーツ基本法関連

公道を使ううえでの苦労などを、主催者意見交換会の際に聞いてみることとなった。

6：ファンサービス部会について

ファンサービスはJRC A全体の活動ともいえるものであり、部会単位での活動ポイントを見直すうえで、一時休会することとなった。

7：来年の主催者意見交換会の議題

2月22日13時より機械振興会館で開催することとなった。

現状議題は以下のもので、主催者部会でこれ以外の議題があれば、追加することとなった。

- A. テクニカルデリゲート関連
- B. リタイヤ後の対処法
- C. モータースポーツ基本法関連
- D. クラス新設に関する対応
- E. セレモニアルフィニッシュの全戦導入
- F. クラス表記ステッカー導入

8：その他

- ・NHK名古屋より報道用動画借用依頼が来ており、承諾することとなった。
- ・Rally Stream等の有効活用
- ・統一フォーマットの見直し

9：次回会議予定

3月6日（木）開催となった。